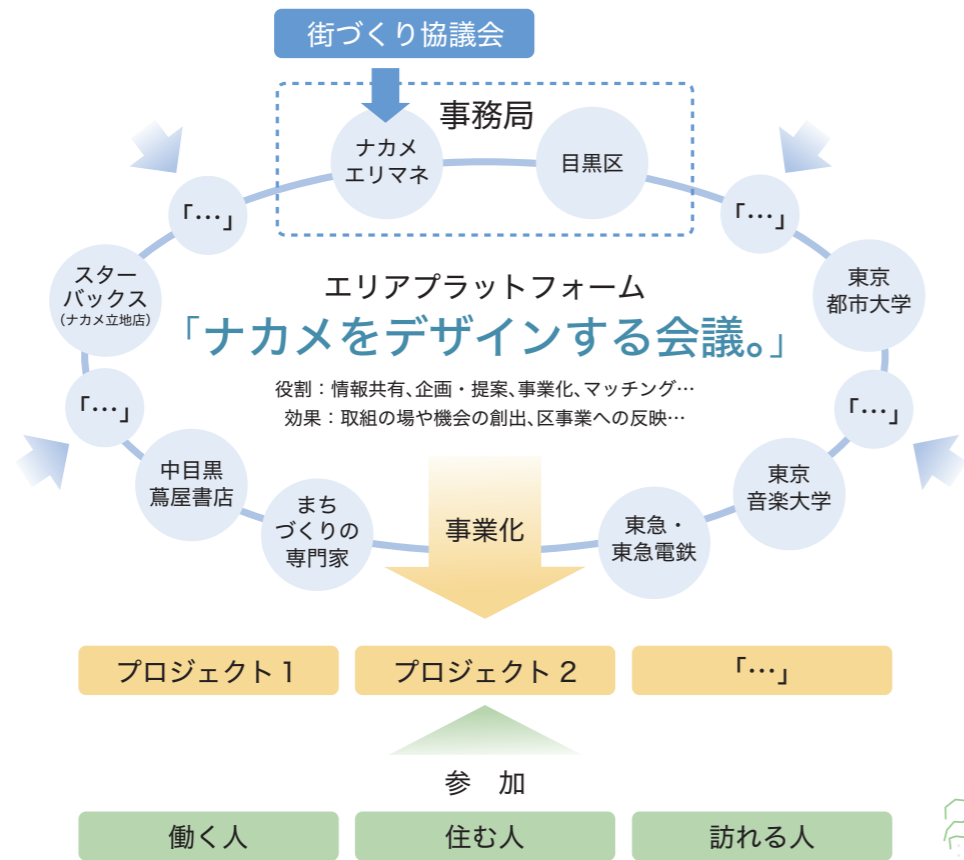


5. 推進体制

- ナカメエリアマネジメントと目黒区が中心となって、エリアプラットフォームである「ナカメをデザインする会議。」を運営し、活動状況の定期的な情報共有と進行管理を行いながら、メンバー間で関連する取組の提案・アイデア出し・企画・マッチングを行い、公民連携によるプロジェクトの事業化、区事業への反映を図ります。
- さらに、推進力の確保・向上を目指し、ナカメエリアマネジメントの体制強化のため、「ナカメをデザインする会議。」の運営を通じて会員・パートナーの加入促進や、都市再生推進法人の指定を目指します。



推進策 1

定期的な情報共有と進行管理
ナカメエリアマネジメントと目黒区が中心となって「ナカメ未来ビジョン」の推進に資する活動の定期的な情報共有と進行管理を行います。

推進策 2

メンバー間での情報発信・連携
「ナカメをデザインする会議。」メンバー等が、まちづくりに資する取組を「考えたい・アイデアをもらいたい・メンバーを募集したい」時に、SNS・チャット等のデジタルツールも活用しながら発信・連携します。

推進策 3

アイデアワークショップ・プロジェクトへの参加機会の創出
推進策2で掲げた、メンバー間での情報発信・連携を通じて、プロジェクト実施に向けて深度化を図る必要がある場合には、協議の場やワークショップを開催しながら、広く参加メンバーを募ります。

ナカメ未来ビジョン 概要版

令和6(2024)年3月発行

編集・発行 ナカメをデザインする会議。

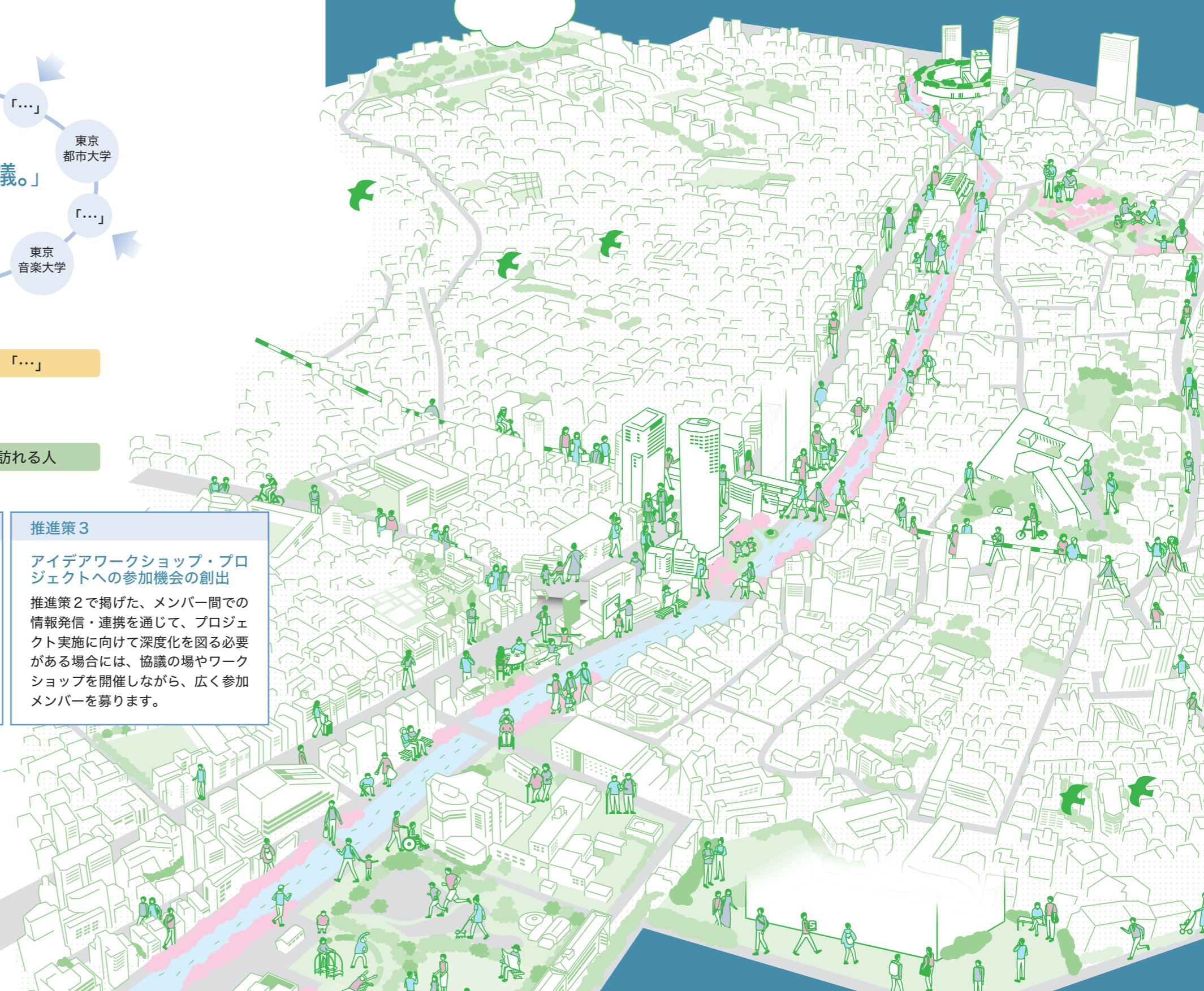
事務局 目黒区街づくり推進部地区整備課
東京都目黒区上目黒二丁目19番15号
電話：03(5722)9673

印刷 株式会社富士通総研

本書に掲載している地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。
[承認番号] MMT 利許第 05-K110-1

ナカメ未来ビジョン

概要版

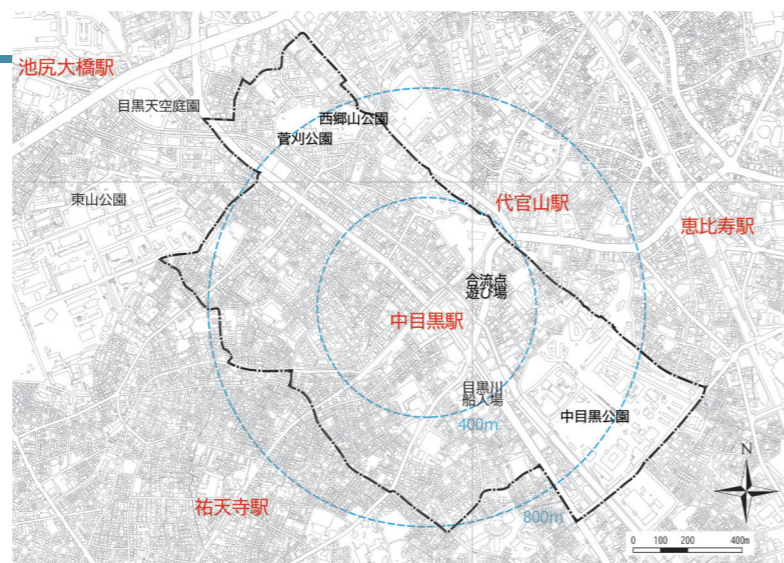


1. ナカメ未来ビジョンとは

- まちの変化や公民連携まちづくりの進展を踏まえ、将来に向けたまちづくりの方針と具体的な取組を明確にするとともに、多様な人材が参画・連携して取り組むことを目的として、未来ビジョンを策定します。
- 「ナカメ未来ビジョン」は、ナカメエリアマネジメントと目黒区を中心として多様な人材が参加するエリアプラットフォーム(ナカメをデザインする会議。)が策定します。
- ビジョンの実施期間は約20年間を想定する将来構想とします。

2. 対象エリア

- ナカメ未来ビジョンの対象エリアは、中目黒駅を中心に、公共空間や店舗を徒歩・車いす又は自転車等で回遊することを想定して、概ね半径800mの範囲とします。
- ナカメ未来ビジョンでは、対象エリアを「ナカメ」と呼びます。



3. ナカメの将来像

「中目黒、つながりが咲くまち」

新しさやおしゃれさを感じる中に、どこかゆとりや落ち着きのある雰囲気をもつナカメのまちで、住む人、働く人、訪れる人が地域内外の様々な人と出会い、交流し、人の優しさや温かさに触れ、日々の暮らしの中で楽しみや喜びなどを感じられる多様な魅力が調和する。

そんな日常の実現に向けて、ナカメが誇る独自の資源を活かし、多様性あふれる文化を発展させ、様々な人がつながり、幸せな交流や創造が咲くナカメをつくっていきます。



4. まちづくりの目標と方針

歩行環境・動線

01

ウォーカブルネットワーク

歩いて巡りたくなるようにナカメ内外の魅力をつなぐ

方針 1. | 歩行者ファーストのゆとりのある環境の創出

- 取組**
- ① イベント等使用形態に合わせた道路の歩行者優先道路化
 - ② 建物の共同化に伴う道路の歩行者優先道路化や民地空間と一体的な空間整備
 - ③ 路外駐車場出入口の設置制限や集約駐車場の設置
 - ④ 歩道橋周辺的安全確保等の検討等歩行空間のバリアフリー化

方針 2. | 歩行空間の魅力向上

- 取組**
- ① 商店街におけるまちづくりルールによる低層部の店舗等の誘導
 - ② 沿道店舗のセットバックによるオープンスペースの確保と活用促進
 - ③ 自然や人の魅力を感じられる1階部分をガラス張り化した建物の誘導
 - ④ 既存建物の外観を活かしたリノベーション
 - ⑤ みどりの散歩道や緑道などベンチ等の整備・舗装や照明などの改修
 - ⑥ ベンチの設置・改修
 - ⑦ 接道部等の緑化の促進

方針 3. | 憩い・くつろげる環境の確保

- 取組**
- ① みどりの散歩道や緑道等のベンチ・パーゴラの設置や改修
 - ② オープンテラスの設置
 - ③ 質の良いトイレの設置・改修
 - ④ 地域のボランティア等による緑化

方針 4. | 周辺エリアとのつながりの強化

- 取組**
- ① 歩行者向けサインや案内板等の整備、改修や拡充
 - ② ライトアップや壁面ペイント等による誘導
 - ③ イベント等の協同開催
 - ④ シェアモビリティの活用
 - ⑤ GSUC 構想のフラッグシップ拠点への回遊路整備の推進



目黒川沿いの区道の歩行者優先道路化



店舗でのオープンスペースの確保・ガラス張り化

まちなか拠点

ひとやまちの魅力に出会える拠点をつくる

方針 1. | 駅周辺での滞留・回遊を生み出す場の創出

- 取組
- ①民有地と公共空間の一体的な舗装等による新たな広場空間の創出
 - ②道路空間のオープンスペース化
 - ③交通結節点としての駅とまちとの連携強化による回遊性の向上

方針 2. | 魅力あふれる水辺の整備と利活用

- 取組
- ①河川広場・空間におけるテーブル・ベンチ・キッチンカー等の設置、芝生等による緑化
 - ②河川広場のイベント等での利活用
 - ③質の良いトイレの設置・改修
 - ④河川看板の整備、改修

方針 3. | 民間のオープンスペース等の憩いや交流の場としての利活用

- 取組
- ①オープンスペースへのテーブル・ベンチの設置
 - ②施設のイベント等でのオープンスペースの活用の促進

方針 4. | 公園の新たな憩い・交流・回遊を生み出す場としての充実

- 取組
- ①民間活力を活用した施設・設備の改修
 - ②新たな便利施設(カフェ等)・キッチンカー等の設置
 - ③トイレの質の向上、ベンチの設置や改修
 - ④公園等の看板の整備・改修
 - ⑤みどりの散歩道ガイドブック等の更新、販売、周知

方針 5. | 個性的な新産業を創出する拠点の形成

- 取組
- ①新たなビジネスを創出する交流・創造の場の確保
 - ②オープンイノベーション拠点の形成



目黒川船入場でのキッチンカー出店



区立合流点遊び場でのイベント開催

やすらぎのあるまち

ひとにやさしく安心できるまちをつくる



方針 1. | まちなかの身近なみどりの保全と充実

- 取組
- ①地域の関係者が一体となった清掃活動の実施
 - ②サクラ再生実行計画をもとに、地域のデザイナー等との協働も見据えた目黒川沿道の低木をはじめとした樹木の植え替え
 - ③グリーンクラブや地元小中高等学校等ボランティアの育成・立上げや連携による植栽の充実
 - ④みどりの散歩道や緑道などの緑化や植栽の更新

方針 2. | 桜開花時期等におけるサステナブルツーリズムの実現

- 取組
- ①地域の関係者が一体となったまちなかの巡回・巡視等の強化
 - ②情報発信や案内等による駒沢通り以南方向への回遊の誘導
 - ③制度化も見据えたりユースカップ活用によるプラゴミ削減の推進
 - ④店舗等との連携によるゴミの回収
 - ⑤質の良いトイレの設置・改修

方針 3. | 落ち着いたある景観や環境の保全

- 取組
- ①景観形成のルールづくり
 - ②置き看板の解消(ルールの徹底、デジタルサイネージの活用等)
 - ③自転車等走行環境の整備の推進、駐輪・走行マナーの周知、放置自転車の撤去
 - ④ゴミのポイ捨て抑制や飲食・喫煙マナーの周知
 - ⑤周辺権利者と連携した無電柱化の推進
 - ⑥地域の関係者が一体となった清掃活動の実施



方針 4. | 災害時の対策・受入態勢の強化

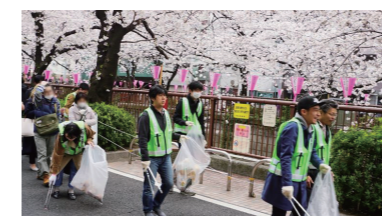
- 取組
- ①駅前における帰宅困難者の滞留空間の確保
 - ②デジタルサイネージやフリー Wi-Fi などの災害時の情報発信
 - ③駅周辺の事業者や関係団体等と連携した帰宅困難者対策の推進
 - ④店舗・事業所での防災備蓄の誘導
 - ⑤誘導案内や備えのための訓練実施

方針 5. | ナカメで暮らす人々に優しく安心して暮らせる環境の充実

- 取組
- ①まちなか拠点の活用を通じた安心して活動・体験できる場や機会の創出
 - ②生活支援サービス(買い物支援等)の実施
 - ③歩道橋周辺の安全確保等歩行空間のバリアフリー化の検討

方針 6. | 多様な人々が安心して楽しく過ごせる環境の充実

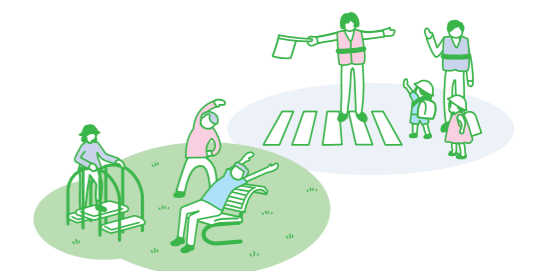
- 取組
- ①外国人等のための案内・相談場所の設置、国際交流の機会創出
 - ②道路等のバリアフリー化やユニバーサルデザインによる誘導・案内施設の設置
 - ③公園・広場・施設等での子育て支援機能の確保



桜開花時期の課題解決

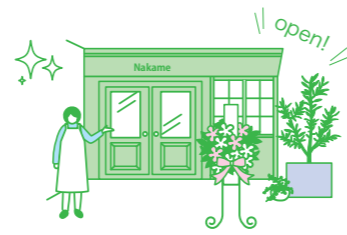


子どもの活動・体験の場づくり



クリエイティブなまち

多様な活動とつながりから活力が生まれるまちをつくる



方針 1. | 店舗・施設の集積・定着の誘導

- 取組
- ①市街地再開発事業や公共空間の更新とあわせた個性ある店舗・施設の立地誘導
 - ②既存建物の特徴を活かした店舗・施設へのリノベーション

方針 2. | ナカメの資源を活かした商品・サービス開発の促進

- 取組
- ①ナカメに関わる事業者等の連携による商品・サービス開発
 - ②地域団体やボランティア間の連携による商品開発



方針 3. | まちなかでの文化・芸術の発信

- 取組
- ①広場やオープンスペースでの音楽演奏、イベント
 - ②アーティスト・クリエイター・デザイナーのまちなかでの活動（創作活動、作品展示、公園等でのインスタレーションなど）
 - ③東京音楽大学との連携・協力による音楽文化、音楽教育、生涯学習、地域コミュニティ、防災対策等の取組の実施

方針 4. | 文化や芸術を学び・体験できる場の創出

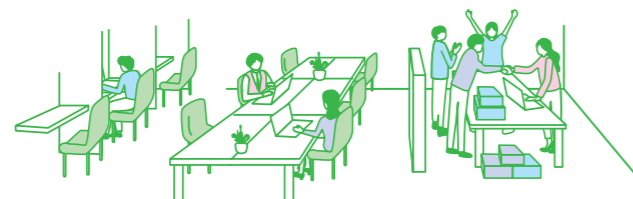
- 取組
- ①まちなかの施設等を活用した音楽等文化・芸術教室の開催
 - ②まちなか拠点の活用を通じた安心して活動・体験できる場や機会の創出
 - ③地元企業やクリエイターによる業務紹介やワークショップの開催

方針 5. | 世代を超えて多様な人々が出会い・つながる場や機会の創出

- 取組
- ①町会・住区住民会議・商店会等と連携した活動の実施
 - ②盆踊りなど多世代が交流できる歴史・文化の保全・充実
 - ③店舗等と連携したタウンミーティングの開催
 - ④音楽等の文化や地域資源を活かしたコミュニティベースドツーリズムの実施

方針 6. | 個性的な新産業や多様な働き方・チャレンジできる環境の創出

- 取組
- ①先進技術やデザインを展開する企業の誘致、起業の支援
 - ②既存施設利活用を通じたコワーキングスペース・シェアオフィスの整備・拡充
 - ③新たなビジネスを創出する交流・創造機能の拡充、大学との共同研究の実施



旧川の資料館を活用したコワーキングスペースの開設



公共空間での音楽演奏



タウンミーティングの開催



情報や技術が活躍するまち

暮らしを豊かにする情報発信やデジタル技術活用を展開する



方針 1. | 駅前エリアでの情報発信機能の強化

- 取組
- ①市街地再開発事業等を通じた情報発信システム（デジタルサイネージ等）の導入
 - ②駅前の店舗・施設と連携した情報発信拠点の設置・拡充

方針 2. | まちの魅力を発信してつながりを生むメディアづくり

- 取組
- ①ローカルメディアの制作・公開
 - ②既存メディアとの連携・連動
 - ③まちづくり活動の情報発信

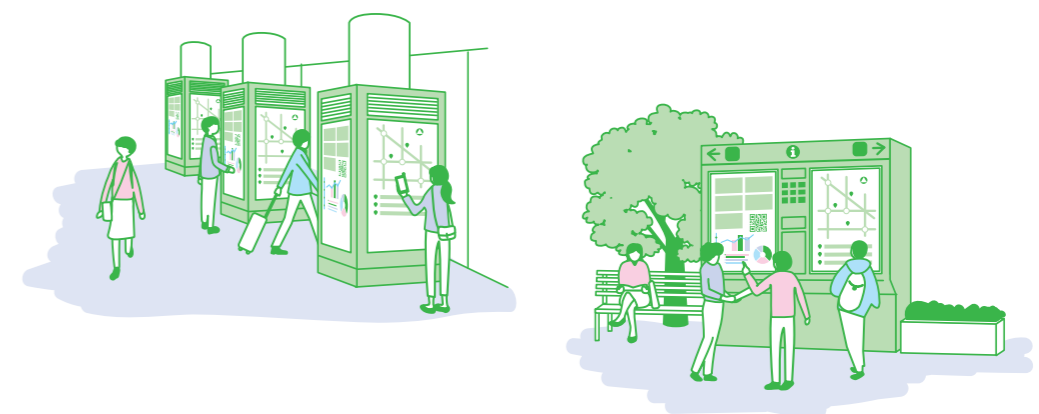


方針 3. | まちづくり活動にデジタル技術の活用

- 取組
- ①SNS等を活用した情報発信
 - ②オンラインツールを活用した意見交換・活動参加の機会創出
 - ③ビッグデータを活用した商業振興施策等の推進

方針 4. | まちなかでデジタル技術を実装できる環境づくり

- 取組
- ①人流把握や防犯等のためのAIカメラやセンサー等の設置
 - ②VR等の活用によるまちづくりの検討
 - ③まちづくり活動の効果を検証するための収集データの分析
 - ④地域のニーズに応じた次世代モビリティの導入
 - ⑤AIを活用した音声ガイド案内板の設置



駅前エリアでの情報発信拠点の設置



ローカルメディアの制作